

# やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指して

町政懇談会が7月19日から8月24日まで、町内の総合福祉センターや小学校など16会場で開催されました。

この懇談会は、豊かな自然と文化にはぐくまれ、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指し、「那珂川町総合振興計画基本構想」と「那珂川町の行財政改革」について説明し、今後のまちづくりについて町民の皆さんから広くご意見、ご要望を伺い、「那珂川町総合振興計画」の基本計画や実施計画に反映させようというものです。

16日間で326名が出席した町政懇談会では様々なご意見、ご要望が出されました。それらの一部についてご紹介いたします。(質問内容は抜粋)



7月19日(水)  
於：馬頭総合福祉センター  
参加人数 14名

Q 空き家が多くなって火災等の災害が心配である。町として空き家対策を考えてほしい。

A 町としても空き家が少なくなればと思う。電線の地中化などの町並み整備事業をして空き家対策になればと思いますが、時代の流れを変えるのはむずかしい。町もできる限りの対応を検討したい。

7月20日(木)  
於：馬頭総合福祉センター  
参加人数 15名

Q 視察に行ったときに有線テレビの施設を見てきたが、有線テレビが農業関係に果たした役割は、大きなものがあった。「梅、栗を作ってハワイへ行く」となどのキャッチフレーズで頑張っているが、その市場の状況を知らせたことがすごく役に立っている。

A 有線テレビはなくても生活はできると思うが、これからはその情報の即効性や確実性の面からどんどん進めてほしい。根気強く進めてほしい。

A ハード的な運用はできてもソフト面の利用法が問題となるのではないか。テレビの機能を出しきれない。JAなどの協力を得て、農産物の価格の情報などを流したい。

福島の西会津町は、ケーブルテレビを導入して老人医療費が下がった。高度化事業を行っていくにあたりプロジェクトチームを作るなど開局に向けて体制を進めていきたい。

7月24日(月)  
於：健武集会所  
参加人数 9名

Q 馬頭矢板線の道路問題はどうかっているのか。健武神社前の道路改修について反対者がいるが、そこを除いても改修を行ってほしい。児童たちが獣道を歩いて通学している状態で、最初の計画からもう何十年も経っている。早急に対応してほしい。

A 難しい問題ではあるが、町としては県に要望はしている。説明会も開催しているが、地権者の協力が得られない状況である。道路の法線の変更、問題力所を抜いて事業を進めることは現段階では難しいことである。今、国、県関係の公共事業はどんどん絞り込んできている。今後、事業費が増えることはないのか、今回事業ができないと何年も先に

なってしまう。

Q 少子化で児童の数が減っているが、学校の統廃合はどうなっているのか。校舎も古くなってきている。早く統合してほしい。

A 今年から複式学級が2学級になっている。健武小学校は平成24年度からは児童数が33名となって完全複式となってしまう。学校整備検討委員会から今後の学校整備について答申をもらっているので財政状況を見ながらできるだけ早く統廃合を進めたい。

7月25日(火)  
於：多目的和見集会所  
参加人数 9名

Q 基本構想の中で学校はどのように整備していくのか。

A 少子化が進んでいる状況にある。和見小学校は本年度の複式学級は2学級である。各学級の人数構成の関係で、平成21年度から完全複式になる。他の学校も似た傾向である。昨年2月の学校整備検討委員会からの答申をもとに検討を進めている。地元の合意が得られれば早急に統合を進めたいと考えている。平成20

年度には統廃合したいと考えているので、今後説明会を開きたいと思っている。

**Q 農家の跡継ぎがない。若い人の住むところがない。働くところがない。立派な構想を作っても財源が無いと実現はできないと思う。**

**A** 財政的には大変きびしい状況にあるが、今、那珂川町に出来る事は振興計画を生かしていくことが必要で、将来に向けたまちづくりを行っていく。

また、先日、この地域の整備要望書が提出されたが、この件については国、県を巻き込んで積極的に行なっていきたい。しかし、地元皆さんの同意が基本であるので皆さんのご理解をお願いしたい。

7月27日(木)  
於：武茂小学校体育館  
参加人数 50名

**Q** 北海道夕張市が破綻したニュースがでたが、現在の町の財政状況を簡単に説明してほしい。那珂川町は、栃木県内で財政的に何番目なのか。

**A** 財政状況は、財政力指数で表すと県内で33市町のなか

で、残念ながら33番目である。那珂川町は40%近くが交付税に依存している。住民の皆さんに負担していただく部分を上げれば収入が増えることになるが、簡単に上げることはできない。夕張市のようにならないように頑張っているところである。

**Q** 町づくりの基本目標の中で道路整備はどうなっているのか。

**A** まちづくりの中でも道路整備は重要な問題であるので、重点地区を決定して整備していくことになる。

**Q** 携帯電話が通じない地区があり、若い人たちが住みたくないと話しているが、今後通じるようになるのか。

**A** 那珂川町には、数か所携帯電話が通じない地区がある。総務省など各方面に要請はしているが、アンテナ一本が5千万円以上かかり、採算の面で難しいところがある。

7月31日(月)  
於：谷川小学校体育館  
参加人数 26名

**Q** ケーブルテレビの加入申込状況が知りたい。今までの

CTBと違う利用方法はどんなものがあるのか。

**A** 加入申込は、馬頭地区アンケート調査回収80%のうち約83%が加入希望している。市場の情報、病害虫防除の情報、医療、学校、防犯などの情報を流せるように整備検討している。

**Q** 歩道が急に無くなってしまつ所があり、大型車が通過する際に大変危険な状況であるが、対応はどうなるのか。

**A** 県に要望はしてあるが、財政状況などの理由により整備、対応が遅れている状況であり、早急に対応するようにこれからも要望していく。スクールバスの利用も考えていきたい。

8月1日(火)  
於：大内小学校体育館  
参加人数 39名

**Q** 自主財源の確保、使用料、手数料の見直しは具体的にはどんなことを考えているのか。

**A** 那珂川町は大企業などがなく、税収が少ないので自主財源の確保が課題である。農林業、商工業が発展してい

ないと、町税が増収しない状況である。自主財源を確保するのは非常に厳しい面があるので、理解していただきたい。町としては極力自主財源確保に努力する。

**Q** 町内の学校の統廃合があるらしいが、東中学校にお金をかけて校舎などを改築すると、大内小学校をそのまま使ってスクールバスを利用した場合のどちらが経費がかからないか、よく考えてほしい。

**A** 昨年2月に学校整備検討委員会からの答申を受けて、これから整備していくことになるが、2回も3回も合併することのないよう、地域の皆さんの声をできるだけ反映していきたいと思う。

8月3日(木)  
於：大山田小学校体育館  
参加人数 22名

**Q** 大山田上郷に8m30cmという大きい桜がある。これは江戸彼岸桜で関東でも一番じゃないかと言われているが、だいぶ枯れ始まっているので、早急に手を打っていたきたい。

また、大山田上郷に椿があ

るが、周囲が2mある。これも専門家に見てもらったが、栃木県でも5本の指に入ると言っていた。馬頭には、大体1m以上のものが20本近くある。全国椿の会の役員の方何人か来ていただいて見てもらったが、一つの町にこれだけの数があるっていうのはめずらしいと言っていた。人口的に作ったものじゃなく、昔からあるものを生かして町の活性化につなげていただけたらありがたいと思う。

**A** 県も今、全県下同じテーマでの町づくりをやっているのが「わが町自慢交付金」という事業だが、説明の中で協働のまちづくりという説明があったと思うが、たとえば小川のカタクリ山についても、最初は民間レベルでスタートしたものがあのような形になってきた。盛谷地区では「なごみの里づくり」とか、富山地区では「はたるの里づくり」など地域を活性化しようというもので、地域が自主的に取り組むものに対し、町も支援するという事業です。県の「わが町自慢」は、たとえば上郷の桜なら、桜を大いにPRす